

# ほっかいどうの社会保障

2017年3月28日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

## 生活保護制度の活用、改悪許さず改善を

資産調査による打ち切りやめろ！ 北海道の説明会開催

北海道社保協は、道生連と共催で、3月27日、北海道の担当者を迎えて生活保護についての説明会を行いました。担当者は、3月2、3日の生活保護関係全国担当係長会議で説明された2017年度の「生活保護基準」と「実施要領」について説明しました(①生活保護制度の適正な実施等、②就労・自立支援の充実、③医療扶助の適正化・健康管理支援等、④自立支援の推進、⑤地方自治体の体制整備等、⑥2017年度生活保護基準)。主なものを紹介します。

### ■生活保護制度の見直しの年

改悪ではなく改善させましょう

2017年度は、次期生活扶助基準をはじめ生活保護制度全般の検討の年(法改正も含めて)

### ■申請権を侵害を疑われる行為も慎むべき

面接時の適切な対応「申請権を侵害しないことはもとより、疑われる行為も厳に慎むべき」  
・扶養義務者と相談しないと申請を受付けない、扶養が保護の要件であるかの説明がないように徹底を

### ■生活保護世帯の高校生のアルバイト収入など

アルバイト収入や恵と金・貸付金を学習塾費や大学等入学料等に充てる場合は収入認定除外です。  
新たに、就労を目的にしている場合は、そのための費用がアルバイト収入から控除できることになりました。

### ■生活保護費による蓄積された預貯金は

保有容認または計画的な支出の助言が基本

最低12ヵ月ごとに資産調査が行われています。  
・支給された生活保護費による蓄積による預貯金の場合、その使用目的の確認する。  
①生活保護の趣旨目的に反しない場合 **保有容認**  
②使用目的が直ちに明らかでない場合／保有が認められない物品の購入など生活保護の趣旨目的に反する場合 **計画的な支出を助言**  
⇒その上で最低生活の維持のために活用すべき資産とみなさざるを得ない旨を説明の上、状況に応じて収入認定や要否判定の行い保護の停止、廃止を検討。

### ■年金受給資格期間短縮制度の説明も

2017年8月1日から、公的年金の受給資格期間が25年から10年に短縮されます。資格を満たしている対象者には全員請求書が送付されます。是非手続きを

## 白石区

生活を切り詰め貯めた保護費が没収 際立つ札幌市の件数226件  
預貯金を没収された生活保護利用者を励ます学習・激励集会

3月22日、白石区で、預貯金を没収された生活保護利用者を励ます学習・激励集会が行われました。白石区では、昨年、71歳男性Aさんが入退院を繰り返して貯蓄した60数万円、68歳男性Tさんがまともな説明なく50数万円、75歳女性Kさんが老後や耐久消費財の購入準備、旅行等のために8年間で貯めた90数万円のうち、耐久消費財等の購入等を除く50数万円が、それぞれ没収されました。いずれも生活保護費の中から生活費などを切り詰めて貯めたお金です。



集会では、蓄えた生活保護費の保有が合法との裁判判例や生活保護の趣旨目的に反していない場合は保有をみとめ、それ以外でも計画的支出を助言指導し一律にすぐに廃止しないとの国会答弁などが紹介。

被害者を激励し札幌市の異常な廃止を改善させる取り組みを確認し合いました。

都市名	廃止
札幌市	226
旭川市	18
函館市	0
苫小牧市	0
小樽市	0
川崎市	0
静岡市	3
京都市	0
堺市	0
神戸市	6
北九州市	13
熊本市	12



### 新・人間裁判

3次提訴 4月20日  
次回公判 6月14日